

県内景況は緩やかに改善

目次

調査要領

1. 概況	-----	2
2. 業況判断	製造業は「好転」に転じ、非製造業は改善	3
3. 売上	製造業は増加に転じ、非製造業は悪化	3
4. 受注	製造業は改善、建設業は悪化	4
5. 経常利益	製造業は改善、非製造業は悪化	4
6. 在庫	製品在庫、商品在庫とも過剰感が増加	4
7. 販売価格・仕入価格	仕入価格：製造業、非製造業とも上昇幅が縮小	5
8. 資金繰・借入金残高	資金繰：製造業は改善、非製造業は悪化	5
9. 雇用	製造業は不足感に転じる	6
10. 設備投資	製造業は増加、非製造業は減少	6
11. 経営上の問題点	「過当競争」、「販売価格の低下」が増加	7

調査要領

- 調査目的** 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため。
- 調査対象** 県内企業248社、回答企業116社、回答率46.8%。
- 調査方法** 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答。
- 調査対象期間** 平成18年10～12月実績及び平成19年1～3月予想。
- 調査時点** 平成19年1月中旬～下旬。

業種別回答企業数

		回答企業数	構成比	うち中小企業	構成比
製 造 業	食 料 品	11	9.5	11	100.0
	織 維 ・ 縫 製	4	3.4	4	100.0
	木 材 ・ 木 製 品	5	4.3	5	100.0
	紙 ・ 紙 加 工 品	4	3.4	4	100.0
	窯 業 ・ 土 石	5	4.3	5	100.0
	金 属 ・ 機 械	13	11.2	12	92.3
	電 気 機 械	11	9.5	10	90.9
	印 刷 ・ そ の 他	7	6.0	7	100.0
計		60	51.7	58	96.7
非 製 造 業	建 設 業	17	14.7	17	100.0
	卸 売 業	16	13.8	14	87.5
	小 売 業	14	12.1	10	71.4
	運 輸 業	4	3.4	4	100.0
	旅 館 ・ ホ テ ル	5	4.3	5	100.0
計		56	48.3	50	89.3
全 部 門 合 計		116	100.0	108	93.1

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業... 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業
- 卸 売 業..... 資本金1億円以下または従業員100人以下の企業
- 小 売 業..... 資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業
- サ ー ビ ス 業..... 資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

BSIとは

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。BSIがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

1 概況.....県内景況は緩やかに改善

鳥取県企業動向調査によると、平成18年10～12月の「自社業況の総合判断」は、製造業では、紙・紙加工品や印刷・その他などが大幅に改善したことから「好転」に転じ、非製造業も僅かながら悪化幅が縮小し、全産業のBSIは5.0と前期比(9.0)4.0ポイント改善した。

製造業は業種別にみると、食料品や繊維・縫製などは悪化したが、紙・紙加工品は「好転」に転じ、木材・木製品や印刷・その他などで悪化幅が縮小し、全体でも「好転」に転じた。非製造業では卸売業と旅館・ホテルで悪化幅が拡大したものの、小売業と運輸業などで改善し、全体でも悪化幅が僅かながら縮小した。

先行きの景況感は、19年1～3月は、製造業が僅かながら悪化するが、非製造業は緩やかに改善する予想となっている。

1. 業種別の景況

製造業の景況感は、再び「好転」に転じた(6.5+1.0)。

非製造業の景況感は、前期比0.5ポイント改善したが、39四半期連続でマイナスとなった。(12.011.5)

2. 売上高の景況

売上高のBSIは、非製造業が減少幅は拡大したが、

製造業は再び増加に転じ、前回調査と同水準となった。(4.0 4.0)

3. 受注高の景況

受注高のBSIは、製造業で増加幅が拡大したが、建設業が減少幅が拡大したことから、39四半期連続で減少となった。(2.0 1.0)

4. 経常利益の景況

経常利益のBSIは、非製造業で減少幅が拡大したが、製造業の減少幅が大幅に縮小したことから、減少幅が小幅ながら縮小した。(12.5 10.0)

5. 販売価格、仕入価格の景況

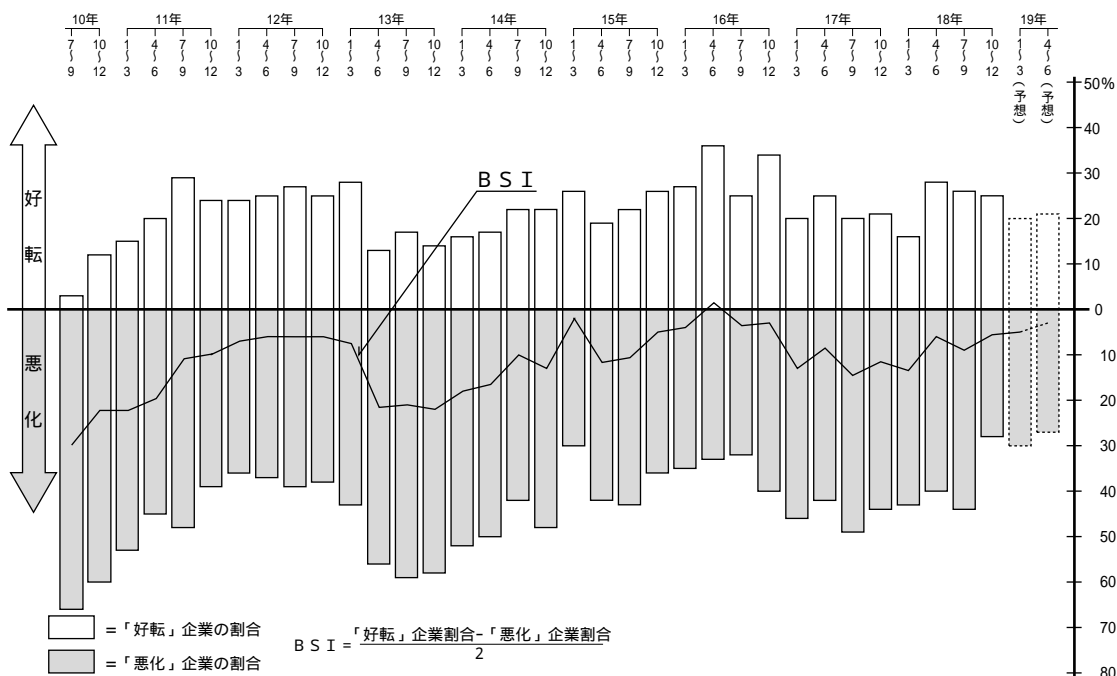
販売価格のBSIは、製造業で低下幅が縮小したが、非製造業は拡大したことから、前回調査と同水準となった。(9.0 9.0)

仕入価格のBSIは、製造業、非製造業ともに上昇幅が大幅に縮小したが、16四半期連続の上昇となった。(+29.5 +16.5)

6. 経営上の問題点

経営上の問題点(大きいものから2項目の選択)については、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の45%、「仕入価格の上昇」が34%、「過当競争」が28%、「販売価格の低下」が24%、「先行き見通し難」が18%が上位項目となった。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



2 業況判断.....製造業は「好転」に転じ、非製造業は僅かながら改善

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて経営者の判断を示す「自社業況の総合判断」のBSI（「好転の割合 - 悪化の割合」÷ 2）は、18年10～12月は 5.0で、7～9月の 9.0より4.0ポイント改善したが、前回（18年10月）調査の先行き予想の 1.5からは3.5ポイント悪化した。

今後の予想のBSIは、19年1～3月は 5.0、4～6月も 3.0と緩やかに改善が続く予想である。

製造業の業況判断のBSIは18年7～9月の6.5から10～12月は、紙・紙加工品や印刷・その他などが改善し、+1.0と7.5ポイント改善し「好転」

に転じた。先行き1～3月は電気機械や紙・紙加工品で好転幅が縮小することなどから 2.5と悪化するが、4～6月は+3.5と改善する予想となっている。

非製造業の業況判断のBSIは、平成18年7～9月の 12.0から10～12月は、小売業や運輸業などで悪化幅が縮小したことから、 11.5と0.5ポイント悪化幅が縮小した。先行き1～3月は、建設業や旅館・ホテルなどが改善し、 8.0と僅かながら引き続き改善する予想である。4～6月は建設業や卸売業などが悪化することから、 10.0と悪化する予想となっている。

図 - 2 業況総合判断（製造業）

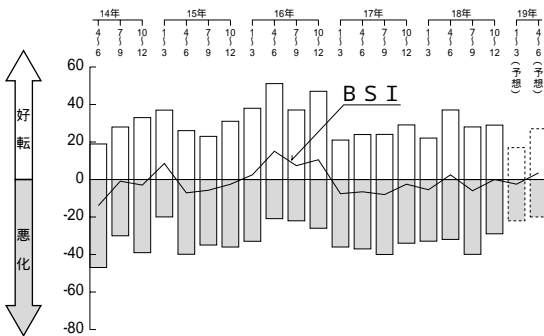
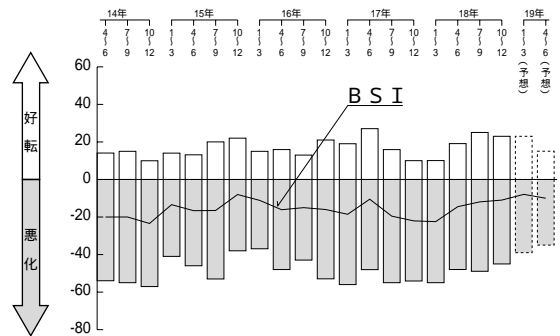


図 - 3 業況総合判断（非製造業）



3 売上.....製造業は増加に転じ、非製造業は悪化

製造業が再び増加に転じたものの、非製造業は減少幅が拡大した。

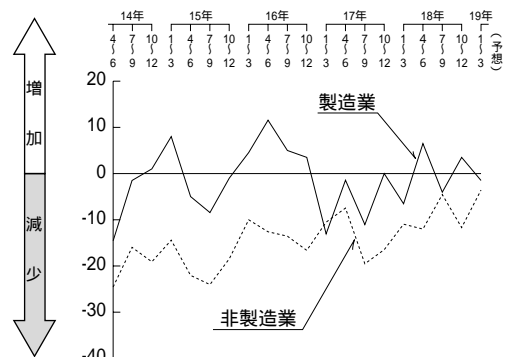
製造業は食料品や電気機械で増加幅が縮小したが、金属・機械や紙・紙加工品の増加幅が拡大し、木材・木製品と窯業・土石の減少幅が縮小したことなどから、平成18年10～12月のBSIは、7～9月の 4.0から7.5ポイント改善し+3.5となり、再び増加に転じた。1～3月は金属・機械や電気機械などが悪化することなどから 1.5となる予想である。

非製造業は小売業が増加に転じたが、建設業や卸売業の減少幅が拡大したことから、BSIは7～9月の 4.5から10～12月は 11.5と悪化した。1～3月は小売業の増加幅が拡大し、運輸業も増加に転じることなどから 3.5と引き続き改善する予想となっている。

なお、売上高の回答の集計は、全産業（回答のあった50社の加重平均）では、18年10～12月の実績は非製造業が減少したものの、製造業は増加し前年同期比1.6%増加した。1～3月の予想は、製造業が引き続き増加し、非製造業も増加に転じることから同1.7%増加する予想となっている。

産業別にみると、製造業（27社）は18年10～12月の実績は同6.1%増加し、1～3月の予想も増加幅は縮小するものの同1.9%増加する予想である。非製造業（23社）は、10～12月の実績が同1.0%減少したが、1～3月の予想は同1.6%増と増加に転じる予想となっている。

図 - 4 売上高のBSI



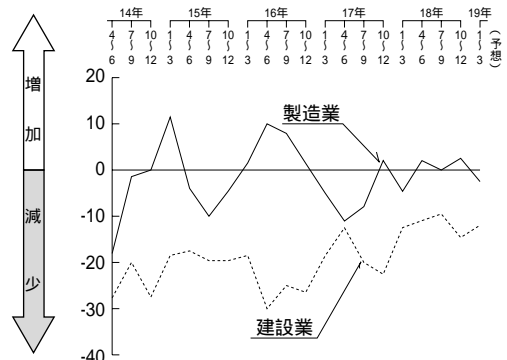
4 受注.....製造業は改善、建設業は悪化

製造業は増加に転じたが、建設業は悪化した。

製造業は金属・機械や食料品などで増加幅が縮小したものの、電気機械や木材・木製品などが増加に転じ、18年10～12月の受注高BSIは2.5と増加に転じた。1～3月は、電気機械や紙・紙加工品などが減少に転じ、木材・木製品の増加幅が縮小することなどから、BSIは2.5と再び減少に転じる予想である。

建設業の受注高BSIは、18年7～9月の9.5から10～12月は14.5と4四半期ぶりに減少幅が拡大した。1～3月は12.0と2.5ポイント悪化する予想となっている。

図 - 5 受注額のBSI



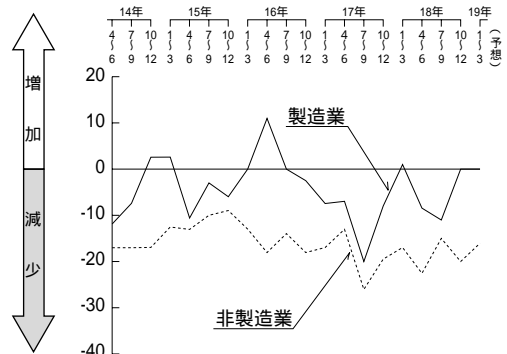
5 経常利益.....製造業は改善、非製造業は悪化

減少幅は製造業が縮小し、非製造業は拡大した。

製造業は、食料品で増加幅が縮小したが、電気機械や木材・木製品などで減少幅が縮小したことなどから、BSIは18年7～9月の11.0から10～12月は±0と大幅に改善した。1～3月は食料品や窯業・土石などが悪化するが、電気機械や木材・木製品が改善し、±0と今回と同水準で推移する予想である。

非製造業は、小売業が増加に転じたが、卸売業や建設業で減少幅が拡大し、18年10～12月のBSIは20.0と7～9月より5ポイント悪化した。1～3月は運輸業を除きその他の業種が改善することから、16.0と減少幅が縮小する予想となっている。

図 - 6 経常利益のBSI



6 在庫.....製品在庫、商品在庫、原材料在庫とも過剰感が増加

製品在庫、商品在庫とも過剰感が増加した。

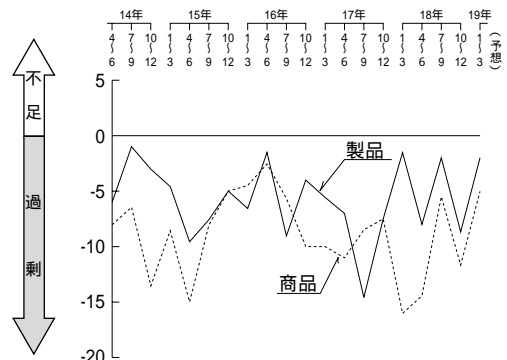
製品在庫のBSI「(不足 - 過剰) ÷ 2」は食料品で不足感が増加したが、紙・紙加工品や電気機械などが過剰感に転じたことなどから、BSIは18年7～9月の2.0から10～12月は8.5と過剰感が増加した。1～3月は電機機械や印刷・その他などで過剰感が減少することなどから、2.0と過剰感が減少する予想である。

商品在庫のBSIは、小売業、卸売業とも過剰感が増加し、全体でも18年10～12月は7～9月の5.5から11.5に過剰感が増加した。1～3月は卸売業、小売業ともに過剰感が減少し、5.0と過剰感が減少する予想となっている。

製造業の原材料在庫は、食料品や繊維・縫製で不足感が減少し、金属・機械は過剰感に転じ、電気機械と木材・木製品も過剰感が増加したことから、BSIは18年7～9月の1.0から10～12月は6.5と過剰感が増加した。1～3月は、金属・機械で過剰

感が増加するが、食料品や紙・紙加工品が不足感に転じることなどから、全体では2.0と過剰感が減少する予想となっている。

図 - 7 製品・商品在庫のBSI



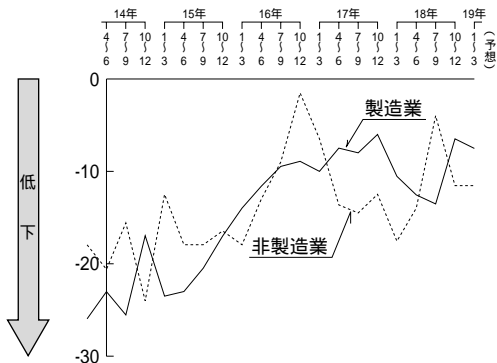
7 販売価格・仕入価格.....仕入価格：製造業、非製造業とも上昇幅が縮小

販売価格は前回調査と同水準。

製造業の販売価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は、電気機械や食料品などで低下幅が縮小したことなどから、18年7～9月の13.5から10～12月は6.5と低下幅が縮小した。1～3月は電気機械や印刷・その他などの低下幅が拡大することから、全体では7.5と低下幅が僅かながら拡大する予想となっている。

非製造業の販売価格のBSIは、建設業で低下幅が縮小したが、卸売業と小売業が低下に転じ、旅館・ホテルも減少幅が拡大し18年10～12月のBSIは11.5と悪化した。1～3月は卸売業が低下幅が縮小するものの、建設業は拡大し、全体では今回調査と同水準で推移する予想である。

図 - 8 販売価格のBSI

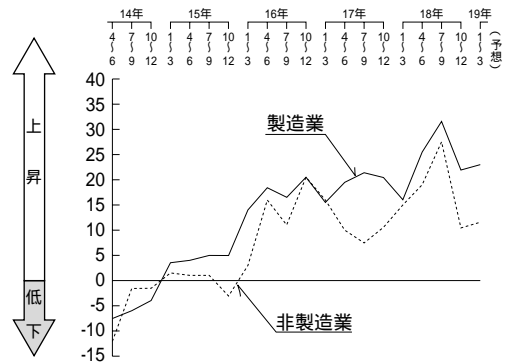


仕入価格は製造業、非製造業とも上昇幅が縮小。

製造業の原材料仕入価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は、窯業・土石などで上昇幅が拡大したが、食料品や印刷・その他などで上昇幅が縮小し、18年7～9月の31.5から10～12月は22.0と上昇幅が縮小した。1～3月は、食料品や窯業・土石で上昇幅が拡大することから、全体でも23.0と小幅ながら上昇幅が拡大する予想となっている。

非製造業の仕入価格のBSIは小売業で低下に転じ、その他の業種は上昇幅が縮小したことから、7～9月の27.5から10～12月は10.5と上昇幅が大幅に縮小した。1～3月は卸売業で上昇幅が拡大するものの、小売業の低下幅が拡大することから、11.5と上昇幅が小幅ながら拡大する予想である。

図 - 9 仕入価格のBSI



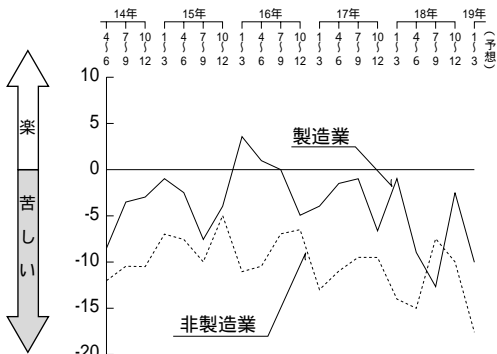
8 資金繰・借入金残高.....資金繰：製造業は改善、非製造業は悪化

資金繰りは製造業が改善した。

製造業の資金繰りのBSI「(楽-苦しい)÷2」は金属・機械や電気機械が改善したことなどから、18年7～9月の12.5から10～12月は2.5と改善した。1～3月は10.0と悪化する予想である。

非製造業のBSIは、18年10～12月は卸売業が大幅に悪化したなどから10.0と7～9月の7.5から悪化した。1～3月も17.5と引き続き悪化する予想となっている。

図 - 10 資金繰のBSI

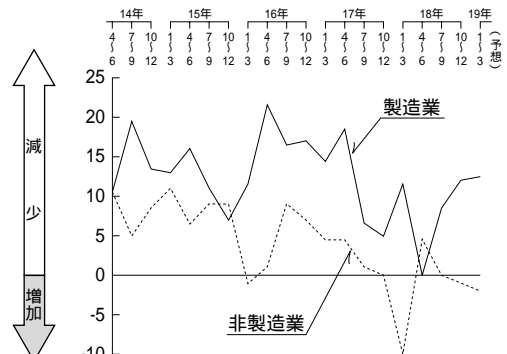


借入金残高は製造業で減少幅が拡大し、非製造業は増加に転じた。

製造業の借入金残高のBSI「(減少-増加)÷2」は電気機械などで減少幅が拡大したことなどから、18年7～9月の8.5から10～12月は12.0と減少幅が拡大した。1～3月は12.5と減少幅が拡大する予想である。

非製造業のBSIは、18年10～12月は、7～9月の0.0から1.0と増加に転じた。1～3月は2.0と増加幅が僅かながら拡大する予想となっている。

図 - 11 借入金残高のBSI



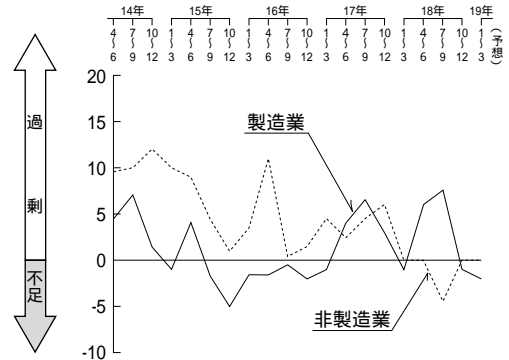
9 雇 用..... 製造業は不足感に転じる

常用雇用者 B S I は、製造業は不足感に転じ、非製造業は不足感が縮小した。先行きは製造業で不足感が僅かながら拡大するが、非製造業は横ばいで推移する予想となっている。

製造業の18年10～12月の常用雇用者 B S I 「(過剰 - 不足) ÷ 2」は、食料品で不足感が減少したが、木材・木製品や金属・機械が不足感に転じたことなどから7～9月の7.5から 1.0と不足感に転じた。1～3月は 2.0と不足感が僅かながら拡大する予想となっている。

非製造業の B S I は7～9月の 4.5から、建設業が過剰感に転じ、卸売業で過剰感が拡大したことから ±0.0と不足感が減少した。1～3月も ±0.0と同水準で推移する予想である。

図 - 12 雇用 (常用雇用者) の B S I



10 設備投資..... 製造業は増加、非製造業は減少

18年10～12月に設備投資をした企業は回答企業の35%で、前年同期実績(34%)を1ポイント上回った。1～3月の設備投資計画は38%で前年同期実績(38%)と同水準になる計画となっている。

製造業の18年10～12月の設備投資の実施割合は48%と前年同期実績(44%)より4ポイント上回り、食料品や木材・木製品などが大幅に上昇した。投資目的(複数回答、構成比、この項目は建設業を含む)は、「補修・更新」が67%、「合理化・省力化」「増産・能力増強」がともに33%、「研究開発」が13%などだった。1～3月の実施計画は52%と前年同期実績(48%)より4ポイント上回る計画となっている。

非製造業の10～12月の実施割合は21%と前年同期実績(24%)を3ポイント下回った。小売業や卸売業などが低下した。投資目的(建設業を除く)は、「補修・更新」が50%、「販売力の増強」が30%、「合理化・省力化」「新規事業(店舗移転含む)」などが10%だった。1～3月の実施計画は23%と前年同期実績(27%)を4ポイント下回る計画となっている。

表 - 1 業種別設備投資企業割合

()内は前年同期実績: 単位%

	18年7～9月 実	18年10～12月 績	19年1～3月 績 計	画
全 産 業	34(42)	35(34)	38(38)	
食 料 品	29(67)	55(43)	45(50)	
繊維・縫製	0 (0)	25(33)	0 (0)	
木材・木製品	25(67)	50(33)	50 (0)	
紙・紙加工品	50(20)	25(17)	50(20)	
窯業・土石	0 (0)	40 (0)	60 (0)	
金属・機械	82(50)	62(57)	54(83)	
電気機械	50(67)	60(62)	70(71)	
印刷・その他	40(50)	29(43)	57(29)	
製 造 業	43(47)	48(44)	52(48)	
建 設 業	19(20)	13(15)	6 (7)	
卸 売 業	12(35)	12(14)	17(11)	
小 売 業	46(67)	43(67)	14(88)	
運 輸 業	40(50)	25(50)	4(50)	
旅館・ホテル	25(20)	20 (0)	5(20)	
非 製 造 業	25(36)	21(24)	23(27)	

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移

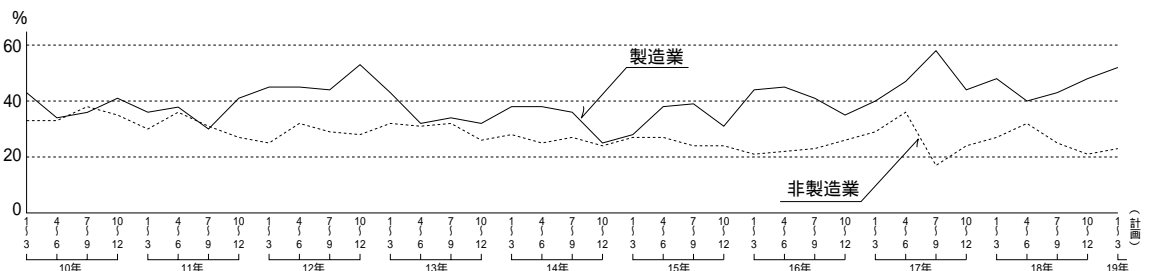
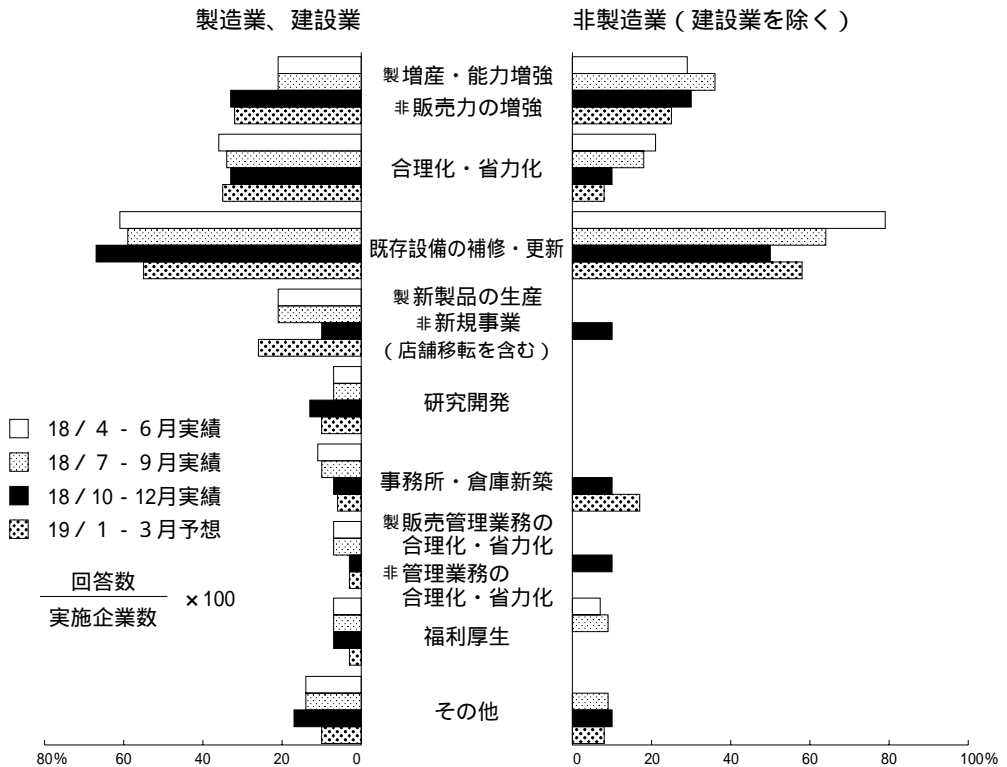


図 - 14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



11 経営上の問題点……「過当競争」「販売価格の低下」が増加

18年10～12月実績の経営上の主な問題点（2項目までの選択、回答なしを含む）は、「売上・受注の減少」45%（18年10月調査56%）、「仕入価格の上昇」34%（同40%）、「過当競争」28%（同25%）、「販売価格の低下」24%（同21%）が上位項目だった。

1～3月は「先行き見通し難」や「販売価格の低下」などが増加する予想となっている。

製造業の上位項目は「仕入価格の上昇」42%（18年10月調査48%）、「売上・受注の減少」36%（同52%）、「販売価格の低下」20%（同23%）、「過当競争」20%（同15%）、「先行き見通し難」20%（同19%）の順だった。1～3月は「先行き見通し難」や「過当競争」などが増加する予想となっている。

非製造業の上位項目は「売上・受注の減少」54%（18年10月調査62%）、「過当競争」37%（同36%）、「販売価格の低下」28%（同20%）、「仕入価格の上昇」25%（同31%）、「諸経費の増加」23%（同11%）の順だった。1～3月は「先行き見通し難」や「販売価格の低下」などが増加する予想となっている。

全国的な景気回復のなか、鳥取県内の景気回復の遅れから、今後の景気動向に対する不透明感が窺われる結果となっている。

図 - 15 経営上の問題点（上位5項目）

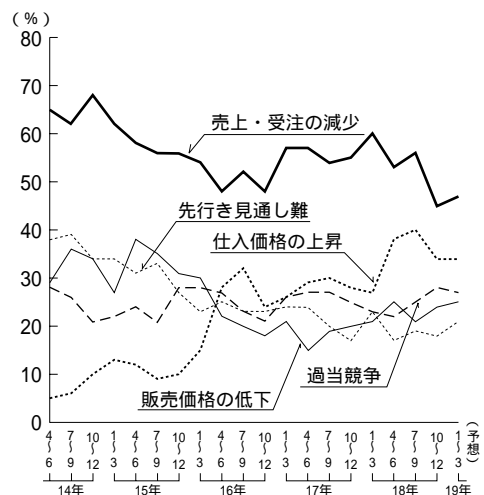


表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	18年7～9月実績				18年10～12月実績				19年1～3月予想			
		A 好転	B 不变	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不变	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不变	C 悪化	B S I A - C 2
全産業		26	30	44	9.0	27	36	37	5.0	20	350	30	5.0
食料品		43	43	14	14.5	27	55	18	4.5	18	64	18	0.0
繊維・縫製		0	80	20	10.0	0	25	75	37.5	25	75	0	12.5
木材・木製品		0	0	100	50.0	50	0	50	0.0	25	50	25	0.0
紙・紙加工品		17	50	33	8.0	50	25	25	12.5	0	100	0	0.0
窯業・土石		0	20	80	40.0	20	40	40	10.0	0	60	40	20.0
金属・機械		55	27	18	18.5	31	61	8	11.5	39	53	8	15.5
電気機械		36	43	21	7.5	36	37	27	4.5	9	55	36	13.5
印刷・その他		20	0	80	30.0	29	28	43	7.0	0	57	43	21.5
製造業		27	33	40	6.5	31	40	29	1.0	17	61	22	2.5
建設業		12	38	50	19.0	18	29	53	17.5	24	29	47	11.5
卸売業		35	18	47	6.0	18	29	53	17.5	6	41	53	23.5
小売業		31	23	46	7.5	29	50	21	4.0	50	36	14	18.0
運輸業		20	20	60	20.0	50	0	50	0.0	0	75	25	12.5
旅館・ホテル		25	25	50	12.5	20	20	60	20.0	20	40	40	10.0
非製造業		25	26	49	12.0	23	31	46	11.5	23	38	39	8.0

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	18年7～9月実績				18年10～12月実績				19年1～3月予想			
		A 増加	B 不变	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不变	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不变	C 減少	B S I A - C 2
全産業		33	26	41	4.0	34	24	42	4.0	26	43	31	2.5
食料品		71	29	0	35.5	55	18	27	14.0	27	46	27	0.0
繊維・縫製		20	40	40	10.0	0	25	75	37.5	25	75	0	12.5
木材・木製品		0	0	100	50.0	50	0	50	0.0	25	50	25	0.0
紙・紙加工品		33	50	17	8.0	75	0	25	25.0	0	100	0	0.0
窯業・土石		0	20	80	40.0	40	20	40	0.0	20	60	20	0.0
金属・機械		45	28	27	9.0	46	39	15	15.5	38	39	23	7.5
電気機械		43	21	36	3.5	36	28	36	0.0	18	37	45	13.5
印刷・その他		20	10	70	25.0	29	14	57	14.0	0	71	29	14.5
製造業		34	24	42	4.0	42	23	35	3.5	22	53	25	1.5
建設業		31	32	37	3.0	24	17	59	17.5	35	12	53	9.0
卸売業		35	30	35	0.0	18	29	53	17.5	18	41	41	11.5
小売業		39	7	54	7.5	36	36	28	4.0	36	50	14	11.0
運輸業		0	80	20	10.0	50	0	50	0.0	50	25	25	12.5
旅館・ホテル		25	25	50	12.5	20	20	60	20.0	20	40	40	10.0
非製造業		31	29	40	4.5	26	25	49	11.5	30	33	37	3.5

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	判断	18年7～9月実績				18年10～12月実績				19年1～3月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		22	31	47	12.5	22	36	42	10.0	18	48	34	8.0
食料品		43	43	14	14.5	36	36	28	4.0	27	46	27	0.0
繊維・縫製		0	75	25	12.5	0	75	25	12.5	0	100	0	0.0
木材・木製品		0	0	100	50.0	50	0	50	0.0	50	25	25	12.5
紙・紙加工品		33	17	50	8.5	75	0	25	25.0	25	50	25	0.0
窯業・土石		20	20	60	20.0	40	0	60	10.0	20	20	60	20.0
金属・機械		36	46	18	9.0	38	47	15	11.5	38	47	15	11.5
電気機械		14	43	43	14.5	18	46	36	9.0	27	46	27	0.0
印刷・その他		22	0	78	28.0	29	14	57	14.0	0	71	29	14.5
製造業		23	32	45	11.0	34	32	34	0.0	25	50	25	0.0
建設業		6	38	56	25.0	0	35	65	32.5	6	29	65	29.5
卸売業		38	24	38	0.0	0	41	59	29.5	0	53	47	23.5
小売業		15	39	46	15.5	29	50	21	4.0	36	50	14	11.0
運輸業		20	20	60	20.0	50	0	50	0.0	0	75	25	12.5
旅館・ホテル		25	0	75	25.0	0	40	60	30.0	0	60	40	20.0
非製造業		20	30	50	15.0	11	38	51	20.0	10	48	42	16.0

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	判断	18年7～9月実績				18年10～12月実績				19年1～3月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		16	50	34	9.0	10	62	28	9.0	11	89	30	9.5
食料品		0	86	14	7.0	9	82	9	0.0	9	73	18	4.5
繊維・縫製		0	67	33	16.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		25	0	75	25.0	50	25	25	12.5	25	50	25	0.0
紙・紙加工品		33	50	17	8.0	25	75	0	12.5	50	50	0	25.0
窯業・土石		0	80	20	10.0	0	80	20	10.0	20	60	20	0.0
金属・機械		9	73	18	4.5	15	62	23	4.0	15	70	15	0.0
電気機械		0	43	57	28.5	9	37	54	22.5	9	27	64	27.5
印刷・その他		11	45	44	16.5	0	57	43	21.5	0	43	57	28.5
製造業		9	55	36	13.5	12	63	25	6.5	14	57	29	7.5
建設業		9	27	64	27.5	6	71	23	8.5	6	65	29	11.5
卸売業		44	25	31	6.5	12	41	47	17.5	18	35	47	14.5
小売業		31	46	23	4.0	7	72	21	7.0	7	72	21	7.0
運輸業		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	75	25	12.5	0	60	40	20.0	0	60	40	20.0
非製造業		25	42	33	4.0	7	63	30	11.5	9	59	32	11.5

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	判断	18年7～9月実績				18年10～12月実績				19年1～3月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		62	35	3	29.5	41	51	8	16.5	42	51	7	17.5
食料品		86	14	0	43.0	51	37	9	22.5	55	45	0	27.5
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		75	25	0	37.5	75	25	0	37.5	75	25	0	37.5
紙・紙加工品		100	0	0	50.0	75	25	0	37.5	75	25	0	37.5
窯業・土石		20	80	0	10.0	40	60	0	20.0	60	40	0	30.0
金属・機械		73	18	9	32.0	54	38	8	23.0	46	46	8	19.0
電気機械		64	29	7	28.5	54	37	9	22.5	46	46	8	19.0
印刷・その他		67	33	0	33.5	29	71	0	14.5	43	57	0	21.5
製造業		66	31	3	31.5	49	46	5	22.0	49	48	3	23.0
建設業		73	27	0	36.5	24	70	6	9.0	24	70	6	9.0
卸売業		56	44	0	28.0	53	35	12	20.5	71	23	6	32.5
小売業		39	53	8	15.5	7	72	21	7.0	7	64	29	11.0
運輸業		100	0	0	50.0	75	25	0	37.5	25	75	0	12.5
旅館・ホテル		25	75	0	12.5	20	80	0	10.0	20	80	0	10.0
非製造業		57	41	2	27.5	32	57	11	10.5	33	57	10	11.5

表 - 7 経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

	問題点	13年		14年				15年				16年				17年				18年				19年 予想
製 造 業	1 仕入価格の上昇	4	5	4	5	6	11	12	13	14	14	22	38	41	30	31	38	40	41	33	50	48	42	44
	2 売上・受注の減少	70	77	73	64	61	62	47	49	52	54	41	36	41	41	50	48	47	46	55	38	52	36	37
	3 販売価格の低下	27	44	25	31	43	31	30	48	42	29	30	23	23	17	18	13	22	18	22	22	23	20	20
	4 過当競争	20	12	15	21	18	15	17	19	17	20	19	20	17	17	23	20	24	18	21	12	15	20	22
	5 先行き見通し難	34	40	44	41	45	41	38	38	35	27	29	32	25	22	26	19	18	16	22	20	19	20	22
	6 諸経費の増加	5	4	2	7	3	2	10	8	6	7	11	9	12	10	10	6	16	15	16	25	11	12	8
	7 資金繰り難	7	4	4	3	7	5	10	10	7	12	8	3	4	4	6	6	7	4	5	5	5	10	12
	8 人件費の増加	7	7	4	5	4	5	7	0	6	2	5	8	17	6	10	16	9	9	7	13	5	7	5
非 製 造 業	1 売上・受注の減少	65	64	66	67	63	74	79	69	60	59	68	64	63	56	64	66	61	67	65	69	62	54	56
	2 過当競争	30	29	29	35	35	28	27	29	25	37	38	36	28	25	29	34	29	33	25	33	36	37	32
	3 販売価格の低下	35	29	40	27	28	38	23	27	27	33	30	21	18	19	25	17	16	23	20	29	20	28	30
	4 仕入価格の上昇	0	2	7	5	7	9	14	11	2	6	7	16	24	18	22	20	21	13	20	26	31	25	23
	5 諸経費の増加	8	5	3	3	5	2	4	0	7	8	3	4	10	7	7	10	9	12	12	9	11	23	19
	6 先行き見通し難	30	28	22	35	33	26	29	22	31	27	17	14	21	25	22	29	21	18	24	14	18	19	19
	7 資金繰り難	13	16	14	10	10	10	14	16	15	8	13	16	10	6	14	10	14	15	14	12	13	9	9
	8 金利負担の増加	5	2	0	3	3	2	0	4	7	6	5	7	3	1	2	2	2	2	4	2	2	4	4

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

お客様の事業資金をバックアップ!!

とろぎん

活 力

シリーズ

かつりよく

中小事業者向け融資

3つのラインナップから貴社に最適な商品をお選びいただけます。

短期運転資金

地域振興ファンド
活力

- 1 利率 年**1.5%**～
- 2 原則 無担保・第三者保証人不要
- 3 保証料不要

長期運転資金 ※1

活力Ⅱ

信用保証協会保証付

- 1 ゆとりの**5年返済** ※2
- 2 無担保・第三者保証人不要 ※3
- 3 原則翌営業日回答

長期運転資金

活力Ⅲ

オリックス(株)保証付

- 1 **3,000万円**までの融資幅
- 2 無担保・第三者保証人不要
- 3 ゆとりの**5年返済**

※1 岡山県内の方は設備資金にもご利用いただけます。 ※2 岡山県内の方は7年以内となります。
※3 岡山県内の方は後継者、配偶者、同居家族のうちいずれか1名必要です。

お問合せは
とろぎんダイレクトセンター

ハロー らくにいこう
0120-86-6915

平日(銀行休業日を除く)
9:00～19:00

TOTTORI
BANK



青い鳥の銀行です。
鳥取銀行

<http://www.tottoribank.co.jp>

平成9年3月1日現在

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています



発行 鳥取銀行 ふるさと振興部
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地
TEL 0857-37-0220